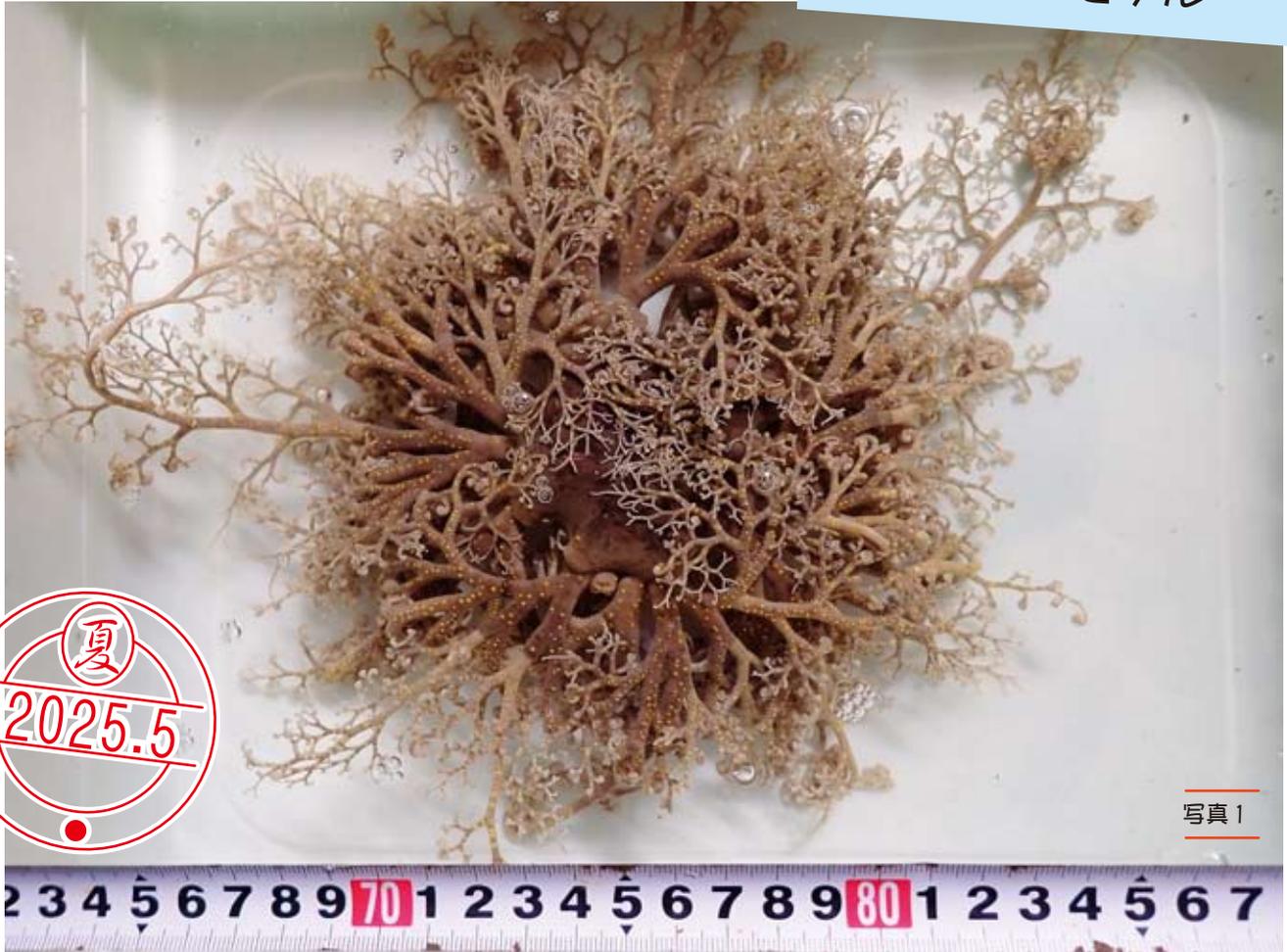


テヅルモヅル



今年の3月下旬、地元の漁師さんから「変なもんがとれたで。」と連絡をいただき、見に行くとテヅルモヅルだとわかりました（写真1）。友ヶ島周辺の水深 50mほどの海底で行う底引き網にかかったそうです。おそらく「セノテヅルモヅル」という種類だと考えています。さてこのテヅルモヅルですが、ヒトデの仲間で、ちゃんと5本の腕があります。ただし、腕は細かく枝分かれをしてお



り、「蔓がもつれるように動く」という意味が名前に込められているようです。

さっそく水槽に入れて展示したところ、全身の細かな枝状の腕をさかんに動かして落ち着かない様子でした（写真2）が、約1ヶ月半経った現在は水槽の隅のガラス面に貼り付いてじっとしています。ところが、エサの冷凍イサザアミを与えると急に腕をさかんに動かしエサをからめとる様子が見られます。

大阪市立自然史博物館にセノテヅルモヅルの大阪湾での記録を問い合わせたところ、過去に1度だけ南部の岬町で記録があるだけのようで、珍しいとの事でした。ぜひ一度、ご覧いただければと思います。

写真2

